



新生児集中ケア認定看護師

黒澤津 裕実

当院本館の7階には総地域産期母子医療センターが配置されており、その中に産科と新生児集中治療室（NICU）があります。

新生児集中ケア認定看護師は、新生児集中治療室（NICU）に入院した赤ちゃんに専門的な知識・技術を用いて、より質の高い看護を提供する看護師です。

NICUは、早産で生まれた赤ちゃんや体重の少ない赤ちゃん、病気をもらった赤ちゃんを受け入れています。

出生直後の赤ちゃんは、母体外の生活に適応するために劇的な変化を遂げなければなりません。これはとても大変なことで、さまざまな理由で医療的なお手伝いを必要とする場合があります。

このような、出生直後から生後数日間における生命の危険性がより高い時期の看護を実践します。また、救命のためのケアだけでなく、成長発達を助けるケアや親子関係形成のための支援や、ご家族の不安にお答えし、安心して育児が行えるようサポートもしています。

こんにちは  
安心してね！



新生児集中治療室



## お答えします No5

**Q** 近年地球温暖化対策として各自治体や企業等がさまざまな努力をされていますが、病院としてはどのような対策を取られているのか、参考までにお聞かせください。

**A** さまざまな対策を行っています。一例として1番館（一番古い建物）のエレベーターを全号省エネ型の装置に更新しました。また外来棟のエスカレーターは乗客が居ない時には停止するように自動運転しています。照明器具は全て高効率の省エネ型を使用し事務室では各器具にプルスイッチを付けて使用していない所は積極的に消しています。空調の温度設定を、患者様に不都合が無いよう控えています。

施設課

**Q** 病院の水が大変美味しいと聞きました。何か理由があるのでしょうか。

**A** 当院のお水はすべて3本の井戸より汲み上げています。地中230mから汲み上げて毎日水質検査を実施しています。また21年春に武蔵野水道局にも設置されている「徐鉄徐マンガン装置」が設置され、おいしくて安全なお水になりました。

施設課



秋風に身をまかせフラダンス  
新編 楽園 いのちの輝

編集制作・写真 池田謙三郎 撮影・演出 金子 聖博 和崎理也  
「Eyeむさしの」事務局にご意見をお寄せください。  
方法 郵便（はがきまたはお手紙にて）  
「Eyeむさしの」事務局 広報係まで  
（宛先は表紙右上です）

## 2009年 秋

季刊 情報誌



アイ  
Eyeむさしのは患者さん向けの情報誌です  
ご自由にお持ちください



当院の救命救急センターは、全国220ヶ所、東京都で23ヶ所ある厚生労働省指定のセンターです。

## No.22

武蔵野赤十字病院

〒180-8610  
東京都武蔵野市境南町1-26-1  
TEL 0422-32-3111  
<http://www.musashino.jrc.or.jp>  
発行 総務課 広報係

### 基本理念

愛の心を高める  
病院職員は、愛の心を高め  
「愛の病院」を実践します

### 4つの愛

病む人への愛  
同僚と職場への愛  
地域住民と地域への愛  
地球、自然、命への愛



## 糖尿病教育に力を注ぎます

内分代謝科 副部長 藤田 道彦

2007年の厚生労働省の調査では、糖尿病患者が増え続ける人は890万人、糖尿病の可能性が否定できない1,320万人、合計2,210万人とこので、1997年の調査と比較すると840万人も増えていきます。40歳以上では約10人に1人、50歳以上では5人に1人の人に糖尿病の可能性があります。日本人を含めたアジア人種は身体の中で血糖を管理するホルモンであるインスリンの分泌力が低い人種なのだそうです。加えて、肥満は身体の中でインスリンの機能を低下させてしまいます（これをインスリン抵抗性と言います）。肥満があると、インスリン分泌力機能が弱い人は、はじめのうちは膵臓が努力してインスリン分泌量を増やして血糖を維持するのですが、やがて膵臓自体が疲弊（虚弊という）してきて、インスリン分泌量が低下してきます。その結果、高カロリーを処理できなくなり、血糖値が上昇＝糖尿病を発症するわけです。

糖尿病が厄介なところは、発症後しばらくは症状がないこと、放置していたり治療が不十分な時には5年後ぐらいから合併症がでてくることです。合併症は、神経障害（足のしびれ、足の感覚低下など）、網膜症（目の障害）、腎症（腎臓機能の低下）、動脈硬化疾患（心筋梗塞、脳梗塞など）が代表的なもので、糖尿病は放置しておけば怖い病気なのです。

糖尿病治療の最大の目標は血糖値を正常値に近づけ（血糖コントロール）糖尿病を発行させないこと、合併症を起こさないことです。血糖コントロールの指標にHbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）値があります。HbA1cの正常値は5.8%未満であり、6.5%以上では血糖コントロールが不十分と判断されます。残念なことに、いま症状がないからと糖尿病を甘くみて、十分な血糖コントロールができていない方を多く目にします。現在は悠長な時代であり、便利なものが増えており、そのために自己管理は難しいのですが、私たちに糖尿病治療に関わるスタッフ（医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士・検査技師など）はそれを傍らで見過ごすわけにはいきません。そこで、患者さまに糖尿病の認識を持っていただき、治療に向かう心をももも健康で、はつらつとした生活を持っていたりたくに、糖尿病教育に力を用いているのです。



藤田 道彦

現在毎月第一土曜日13時～15時崎崎記念講堂にて糖尿病教室を行っています。また1週間での糖尿病教育入院を行っています。これは、1週間のスケジュールには各スタッフが担当する全11講義があり、また運動療法を実践指導と、適正な食事を体感できます。このことは糖尿病と向き合っていく上で非常に大切な1週間になると思います。また、「日赤さら金」と言う糖尿病患者会があります。患者さんが運営している会で、糖尿病治療での悩みや知識を共有して少しでも糖尿病治療の不安を和らげることを目的とし、年数回のイベント（少くとも健康）を開いています。私たちスタッフも参加させていただいております。詳しいことは、当科外来受付におたずねください。



## 患者参加と医療安全

医療安全推進室 専任リスクマネージャー 杉山真子

大きな医療事故をきっかけとして、日本全体で医療への信頼が大きく揺らいでいる状況下にあります。この10年、国をはじめとして、医療界では医療安全にむけて様々な取り組みを進めています。当院でも、院内に「医療安全推進室」が2002年に設置され、専任の職員が配置されています。

事故防止は、患者にとっての安全を最優先し、日常的なあらゆる医療行為が安全に適切に行われていくプロセスがあって初めて成り立ちます。当院では、こうしたプロセス改善に積極的に取り組んでいます。その中に、医療者が実施していくプロセスももちろんのこと、患者さんに参加していただくプロセスもあります。その一つが、安全確認のための「お名前どうぞ」です。

### お名前をどうぞ ありがとうございます

お名前をどうぞは医療安全の基盤。お名前をどうぞは医療安全の基盤。お名前をどうぞは医療安全の基盤。



同姓や似た名前がたくさんあり、また治療にはたくさんいる医療者が関わっています。医療者は、ご本人にフルネームを言っていただくことで、とても助かります。また、入院時には（待ち込み業として）、その時履いている靴をすべてチェックさせていただいています。複数の医療機関から業ももらっているリハビリメントを数まわっている方もいらっしゃると思います。業の相互作用を確認することも重要です。さらに、入院環境はご自宅とは大きくことなり、患者さんによっては急に不安が高まったり不穏状態になることもまれではあります。その結果ベッドから転落したり、遠慮して自分で歩行し転倒するといった状況にもなります。

患者さん及びご家族の病院のホームページをご覧になるか、健診センターまで直接お電話でお問い合わせ下さい。



医療安全推進室 スタッフ



## 人間ドックのご案内

健診部 副部長 高橋有香

特定健診が始まり、健康志向が高まる中、皆様のような健診を受けていらっしゃいますか？

武蔵野赤十字病院健診センターでは、皆様健康維持、健康状態把握の場として、日帰りで人間ドック・脳ドックを行っています。日頃の簡単な健診では把握できない情報を、人間ドックでは得ることができます。



具体的には、生活習慣病健診では把握できない胃・肝・肺・膵臓・大腸・乳癌（胸部）で子宮、卵巣、卵管、前立腺、眼疾患等のスクリーニングができます。又、日頃息切れ等を自覚される方には、呼吸機能検査で呼吸器系に問題がないか確認することができます。脳についても、日頃症状がないうえ、脳の詳しい検査を受ける機会はありません。脳ドックを受けて頂くことで、脳について短い時間で詳しい検査を集中して受け、脳の状態を把握することができます。検査で異常が疑われた場合は、各専門外来で精密検査を受けて、本当に問題がないか確認をする形になります。その他人間ドックのオプションとして、ヘリコバクター・ピロリの検査、動脈硬化、骨密度、BNP（心臓病検査）、肺癌検診として胸部CT、喀痰細胞診があります。日頃の健康に何らかの不安がある方、定期的に健診を受けているという方も、日頃の健診で行わない検査があれば、人間ドックで総合的に検査することをオススメします。定期的な生活習慣病健診を受けているという方は、通常の健診と交互に、あるいは何らかの節目でも良いと思います。

健康管理、健康状態のため、人間ドックを一度お受けになってみて下さい。健診内容等についてご質問がある場合は、武蔵野赤十字病院のホームページをご覧になるか、健診センターまで直接お電話でお問い合わせ下さい。



健診部 スタッフ